

## 日本ヘルスケア歯科学会の代表に就任して

高橋 啓（日本ヘルスケア歯科学会代表）

このたび、2023年3月12日のオピニオンメンバー会議を経て、日本ヘルスケア歯科学会の代表を引き継ぐことになりました高橋啓です。みなさんよろしくお願ひします。日本ヘルスケア歯科学会は、縦割りの組織ではないので、代表が交代したから、大きく方向性が変わることはありません。大きなところは、今まで通りの方向性で進んでいきます。ただ、時代とともに出てきている課題もありますので、そういったことには、積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

今後に残っていく学会にしていきたいと思います

皆さんは、ヘルスケア歯科学会に入会して、なぜ現在も会員でいるのでしょうか？自分はここで学んで、今の診療室を作ってきました。ヘルスケアでの学びや交流がなければ、今の診療室はなかったと思ひます。それは直接教えてもらったこともあるし、講演などを通して間接的に教えてもらったこともあります。また、ヘルスケアはいろんな人に講演の機会があるので、その話を聞いて、自分たちも頑張ろうと刺激を受けて頑張れたこともあります。もし「そんな経験ないよ」という人がいたら、ぜひ体験して欲しいので、高橋まで連絡（[info@tak-dental.com](mailto:info@tak-dental.com)）をください。そんな場を紹介します。自分はヘルスケア歯科診療を日本に、次の世代に残していきたいと強く思ひています。そのためにできることをみんなでやっていきたいと思います。過去を大切にしながら進化しましょうヘルスケアには、先輩方の頑張ってきた25年の歴史があります。今まで積み上げてきた文化を大切にしながら、進化させていきたいと思ひます。ただ、言葉で言うのは簡単ですが、たぶんこれが難しいと思ひられます。ヘルスケアには、たくさんの方の能力のある人材がいます。いろんなかたちで力を発揮できるようにしていきたいです。ただ、基本となるのは、ヘルスケア歯科診療を進化させることや、ヘルスケア歯科診療の幅を広げることになります。

みんなで楽しくやりましょう

ヘルスケア歯科診療は、患者さんにも、歯科医療従事者にとっても、笑顔でできる診療です。それは25年前からずっとそうです。そこは忘れずにいきたいと思います。いろんな面で質を高めている医院は、みんなのお手本になってください。そして、現状に満足せず、さらなる高みを目指しましょう。今なかなか医院を進化させることが難しい医院は、耐える時期かもしれません。そんな時期もあります。しかし、必ず成長するチャンスは来ます。今いるメンバーで耐えながら待ちましょう。そしてチャンスが来たときにヒットが打てる準備をよろしくお願ひします。そんな話もヘルスケアの集まりに参加して、話をするといろんなヒントが得られます。

ヘルスケアは総合力診療であり強い診療です

ヘルスケアは、医院全員で取り組む診療です。総合力の高い歯科医院を作ります。それは、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科助手、受付のみんなで作る診療です。それぞれに役割があり、支えあっています。ただ、日々の臨床ではいろんなことが起こります。「うちの医院は……」というのは、あなたの医院だけではありません。そこを譲り合っこそ、成長して見える景色があります。私たちは、コロナ禍を経験して、我々の臨床の強さが再認識できたと感じています。患者さんに強く支持されるヘルスケア歯科診療の素晴らしさがそこにあります。これからも日本ヘルスケア歯科学会をよろしくお願ひします。一緒に頑張っていきたいと思います。

高橋代表インタビュー動画はこちら、

([https://youtu.be/VSp\\_Rp-7xBI](https://youtu.be/VSp_Rp-7xBI))